

# 福島県

## 県南地方農林業・農村体験

のどかな自然の中でほんものの感動体験。



# なぜ、農林業・農村体験が必要なのか。——

ほんものの農林業・農村体験を通して、健全なからだ、自立心、豊かな心、他人を思いやる心を育むことができます。

県南地方は、豊かな自然に恵まれており、人情豊かな農家のおじさんやおばさんが子どもたちをお待ちしています。

## ● 県南地方農林業・農村体験の特色

### ① 教育目標にあった体験をそれぞれにご提案

県南地方は、山間から平坦まで、バラエティに富んだ農林業が行われており、体験メニューも豊富です。小規模校から大規模校まで、それぞれの教育目標にあった体験を、数あるメニューから、提案させていただきます。また、ご希望があれば事前の出前講座等にも対応致します。

### ② 信頼できる安全管理体制

安全管理講習会等により、安全・安心な体験の提供に心がけています。アレルギー情報等に配慮した受入、学校毎に緊急連絡体制の明確化等、体験実施の安全管理をフォローいたします。

### ③ 様々な体験・宿泊施設があります。

那須甲子青少年自然の家をはじめ、公共の宿、ホテルや旅館等の宿泊施設も充実。また、「まほろん（福島県文化財センター白河館）」での歴史・民俗体験や阿武隈川・久慈川源流での自然体験等、様々な体験学習との組み合わせも可能です。



## ●体験活動の具体例



おすすめ!

### 少人数に分散して農村体験

各受入れ農家へ少人数で分かれて、日帰りの農林業・農村体験を行います。行き先毎違う体験に、子供達のインパクトも倍増。少人数ならではのほんもののふれあいが体験できます。

【可能時期】5月～11月 【料金】要相談



### ●その他体験メニュー

酪農体験、紙すき体験等各種体験をご用意しておりますので、お気軽にご相談ください。

## ●代表的な体験メニュー

### 田植え

水田に素足で入り土の感触を楽しみながら手作業で苗を植えます。楽しさの中にもお米の大切さを学びます。

【可能時期】5月  
【時間】2時間  
【料金】1,500円(人)より



### 稲刈り・はぜ掛け

農作業機械による稲の刈り取りを行います。手刈りによる体験も可能です。刈り取った稲は木と縄でしばったはぜ(稲掛け)に掛けます。

【可能時期】10月  
【時間】2時間  
【料金】1,500円(人)より



### 野菜収穫体験

野菜農家で種まき、収穫作業を行います。

【可能時期】5月～11月  
【時間】2時間  
【料金】500円(人)より



### 果樹農作業

(桃、りんご、梨、ブルーベリー)

果樹農家で授粉や袋かけ、摘果作業を行います。

【可能時期】4月～10月  
【時間】1時間  
【料金】500円(人)より



### そば打ち体験

本格的なそば打ち体験を行います。

【可能時期】通年  
【時間】2時間  
【料金】1,500円(人)より



### きのこ植菌

森の中で原木にキノコのコまを一つ一つ打ち込む体験です。

【可能時期】12月～4月  
【時間】1時間  
【料金】1,000円(人)より



### 施設見学(選果場)

地方で栽培した農産物が、どのようにして流通するのか施設を見学しながら学びます。

【可能時期】7月中旬～8月下旬  
【時間】1時間  
【料金】無料

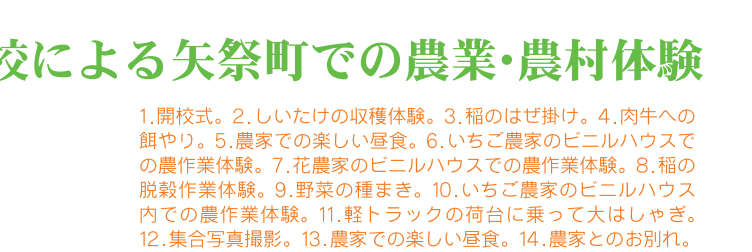


### 歴史文化体験

「まほろん(福島県文化財センター白河館)」で歴史・文化を体感できます。

【体験メニュー】土器体験、火おこし体験、勾玉作り、凧作り  
【可能時期】通年  
【時間】1時間  
【料金】無料(材料費別途)





## 事例紹介 千葉県佐倉市立小竹小学校による矢祭町での農業・農村体験

### 保護者の感想

- 初めはどんな事をするのか不安があったようだが、畑仕事や牛の世話を通じて、人が食べて生きていくには農家の人たちの地道な作業があってこそなんだと分かったようです。
- 「農家の人たちは優しくしてくれて温かい人たちだったよ。」と子供の口から話してくれた時には、親も感動しました。体験を通して人とのふれあいを感じたようです。

### スケジュール

日付	活動内容	宿泊先
10/18	日光見学	那須甲子青少年自然の家（西郷村）
10/19	赤面山登山	〃
10/20	矢祭町内で少人数毎に農業・農村体験	

- 1.開校式。
- 2.しいたけの収穫体験。
- 3.稲のはぜ掛け。
- 4.肉牛への餌やり。
- 5.農家で楽しい昼食。
- 6.いちご農家のビニルハウスでの農作業体験。
- 7.花農家のビニルハウスでの農作業体験。
- 8.稲の脱穀作業体験。
- 9.野菜の種まき。
- 10.いちご農家のビニルハウス内での農作業体験。
- 11.軽トラックの荷台に乗って大はしゃぎ。
- 12.集合写真撮影。
- 13.農家で楽しい昼食。
- 14.農家とお別れ。

平成21年10月20日に、千葉県佐倉市立小竹小学校6年生60人が、矢祭町を訪れ、農業・農村体験を実施しました。

受入れに協力したのは、JA東西しらかわ矢祭支店女性部15人の農家の皆さんです。小竹小学校一行は、那須甲子青少年自然の家に宿泊し、最終日に、農業・農村体験を行いました。

10時45分より、矢祭町山村開発センター駐車場が開校式を開き、児童と農家の方々のご対面となりました。その後、各農家の自家用車に乗って移動し、早速それぞれの農家で農作業体験を行いました。脱穀作業や稲のはぜ掛け、さつまいも収穫体験、里芋ほり、ビニルハウスでの花の作業、牛とのふれあい等、それぞれの農家でのその時期の作業を体験しました。昼食時には、農家の暮らしや昔の様子、生活の知恵などの話を聞いて交流しました。午後には、再び、各農家の自家用車で山村開発センターに戻り、みんなで集合写真を撮りました。

子どもたちは、最初は少し緊張していたようですが、最後には、農家のおじさんやおばさんとの別れを惜しんでいました。午後2時半に、児童達は、小竹小学校へと帰って行きました。

**少人数ずつ分散し、農家の方と心と心の交流を行います。**



## 事例紹介 東京都内の中学校による白河市表郷地区での農業体験

1.刈り取った稲を縛っています。2.初めてとは思えないほど手際よく縛っています。3.開校式。4.餅つき。5.中学生は稲刈り作業が早いです。6.棒がけの様子。7.作業方法について説明する滝田国男さん。

### スケジュール

日付	活動内容	宿泊先
10/6	英国生活体験	ブリティッシュヒルズ(天栄村)
10/7	稲刈り体験、トマト収穫体験	白河関の里(白河市)
10/8	果樹収穫体験	

平成21年10月7日に、東京都内の中学校3年生109人が、白河市表郷地区を訪れ、稲刈り体験を行いました。受入れに協力したのは、白河市表郷地区の「表郷いいもの開発協議会」と「深渡戸アグリ21生産組合」の皆さんです。一行は、前夜に天栄村にあるブリティッシュヒルズに宿泊し、英国生活体験を行い、正午頃に白河市深渡戸地区内の集落センターに到着しました。はじめに、同センター駐車場で開校式を開催、深渡戸アグリ21生産組合の滝田国男さんの歓迎の挨拶の後、餅つきを行い、餅と一緒に、地元で生産した大豆を活用した「おからコロツケ」や、おにぎり、トン汁、天ぷらに舌づつみを打ちました。続いて、同センター近くの水田で、カマを持って手で稲刈りを行いました。生徒達は、初めての経験で、「おもしろい」、「楽しい」といながら、稲を乾燥させる「棒がけ」と言われる作業まで行いました。その後、集落内にあるトマトの大型ハウスを見学し、同市内にある「白河関の里」に移動して行きました。

大人数で稲刈り体験を行います。

## 事例紹介 東京都内の中学校による鮫川村での農業体験



**里山保全活動を通して、持続可能な地域づくりを行います。**

平成21年7月11、12両日、東京農大のオープンカレッジ講座に参加している東京都内の女子中学2年生28人と東京農大生らが鮫川村を訪れ、里山の景観を守る「里山景観保全活動」が行われました。初日は、落合地区で5月に田植えした水田に入り、田の草取りを体験しました。夜は渡瀬地区などでホタルの観察会に参加しました。2日目は朝日山をハイキングし、野鳥の観察などを行った後、館山公園で昼食を取りました。参加者は2日間の活動を通じ、自然に触れ合うとともに、里山の景観維持に理解を深めました。

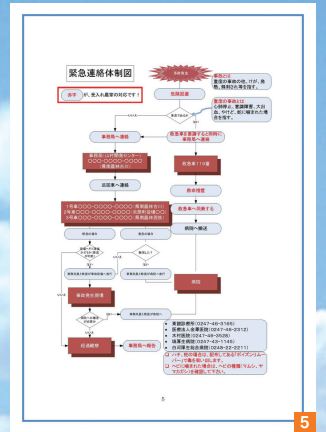
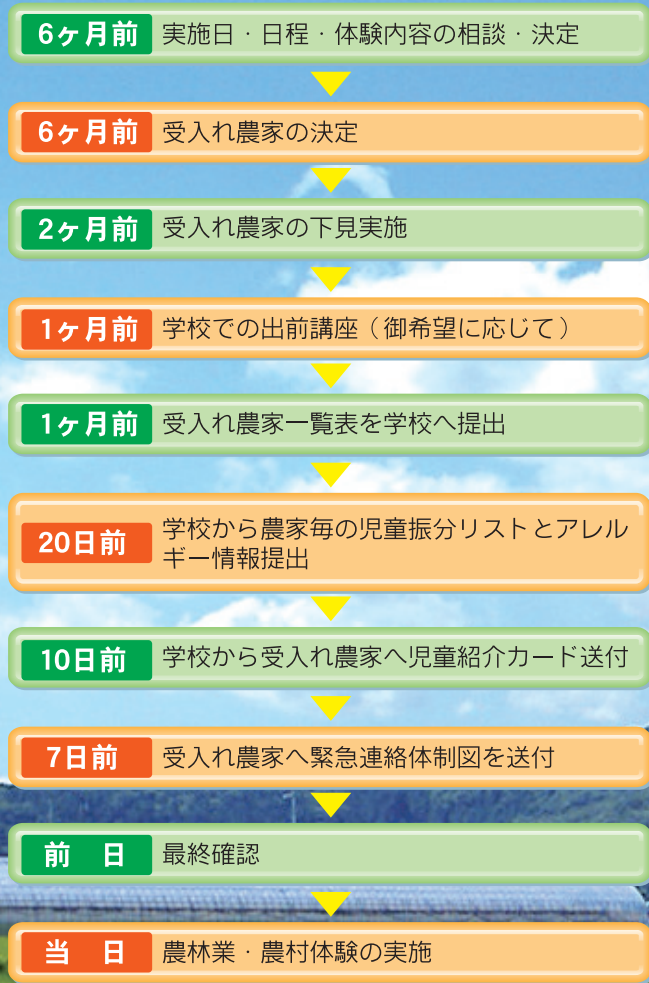


1.ベラ棒作りの様子。2.雑木の切り出し作業の様子。3.村営宿泊施設「ほっとはうす・さめがわ」。4.農村体験交流施設「山王の里」。旧渡瀬保育所を改修し、平成20年4月にオープンしました。5.新鮮な野菜がたくさん並んでいる農産物直売所「手・まめ・館」。食堂を併設しており、新鮮で家庭的なヘルシーメニューが楽しめます。

**学生に技術を伝授し、地域づくりを一緒に考えます。**

平成21年4月25、26の両日、東京農大の学生や首都圏の一般市民、村民ら約30人が参加し、鮫川村のカレッジ講座「鮫川村・里山景観保全活動」が、村内で行われました。村民が昔ながらの炭焼き技術を学生らに伝承しました。そして里山の再生、エネルギーの地産地消、自然と共生した持続可能な地域づくりを一緒に考えました。村営の宿泊施設「ほっとはうす・さめがわ」近くの山林で小型の炭窯を作り、コナラやクヌギの炭焼きを行いました。また、学生は雑木を切り出し、炭窯の表面を成形する「ベラ棒」作りにも挑戦しました。夕食では里山で採った山菜を味わい、豊かな自然をあらためて実感しました。

## ● 受入れまでのながれ(モデル)



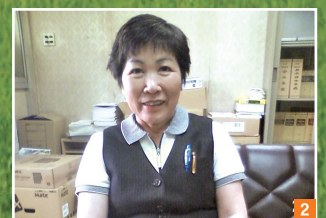
1. 出前講座で説明する県の担当者。2. 出前講座で熱心に話を聞く児童達。3. 児童の紹介カード。4. 救命救急講習会の様子。5. 緊急連絡体制図。6. 農村で体験した内容を発表する児童達。

## ● 県南地方の受入組織

P3からP5で紹介した受入組織です！

団体名	代表者、連絡先
(株)JAファームサポート	代表：滝田国男 電話：0248-32-1032
JA東西しらかわ 矢祭支店女性部	代表：熊田孝子 電話：0247-46-3145
鮫川村農村体験 交流協議会	事務局：鮫川村役場企画調整課 電話：0247-49-3115

※この他にも受入れ農家がたくさんございます。

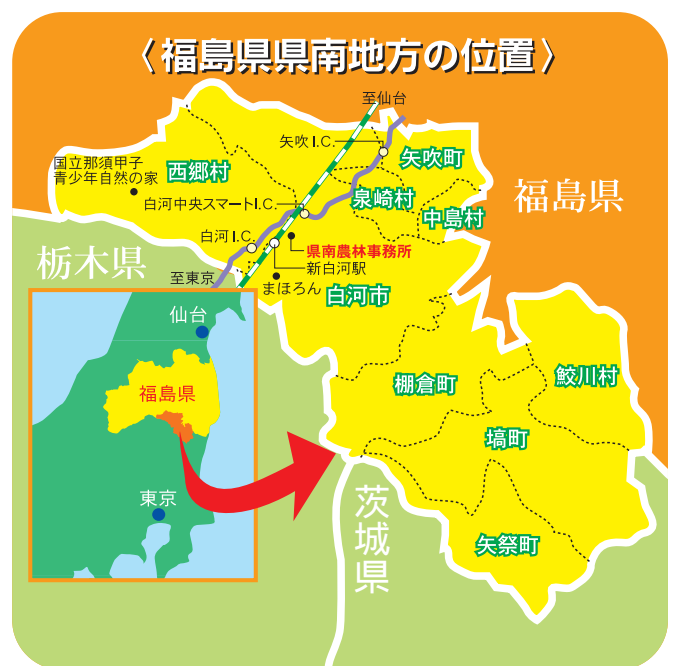


1. JAファームサポート代表の滝田国男さん。2. JA東西しらかわ矢祭支店の熊田孝子さん。3. JA東西しらかわ矢祭支店女性部の皆さん。4. 鮫川村農村体験交流協議会(さめがわライフサポート)の皆さん。



# 福島県県南地方について

福島県県南地方は、首都圏から東北圏への入り口にあたる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は1,233km<sup>2</sup>で東京都23区の約2倍となっています。当地方では、多様な条件を活かして、お米や野菜、果物、花など様々な農作物を栽培しており、多くは首都圏に出荷されております。トマトやブロッコリー等、皆様の食卓に並んでいるかもしれません。



福島県 県南地方への 所要時間	茨城方面から	水戸市	→	白河市	108km (2時間24分)
	埼玉方面から	浦和I.C.	→	白河I.C.	165km (1時間40分)
	千葉方面から	千葉北I.C.	→	白河I.C.	232km (2時間44分)
	東京方面から	三郷I.C.	→	白河I.C.	199km (2時間10分)

学校のご要望を踏まえ、福島県県南農林事務所が、体験メニューのご提案をさせていただきますので、まずは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

## 福島県県南農林事務所企画部

〒961-0971 福島県白河市昭和町269

TEL0248-23-1576 FAX0248-23-1590

E-mail:kikaku.af03@pref.fukushima.jp

http://www.pref.fukushima.jp/norin-kennan/